

## 学習等支援施設（サポート校）自己評価

評価基準【A：達成できている B：概ね達成できている C：努力が必要 D：不十分である E：できていない】

分類	評価項目	評価に関する内容	評価	評価の観点
学習支援	面接指導（スクーリング）時の支援体制	面接指導（スクーリング）における生徒の登校時には、実施会場に職員が同伴し、生徒の支援および緊急時に対する行動がとれる体制がとれているか。	A	JR西条から電車orJRバスで呉校まで職員が分かれて引率
	試験実施時の支援体制	定期考査（前期・後期テスト）における生徒の登校時には、実施会場に職員が同伴し、生徒の支援および緊急時に対する行動がとれる体制ができているか。	A	実施会場（東林館高校呉校）に職員が待機して、生徒支援にあたる
	レポート学習支援	レポートの取り組みや提出に関して、安心して学習に取り組める支援がなされているか。	A	レポート等の学習支援や試験対策講座を実施
	面接指導（スクーリング）への出席状況	各生徒の面接指導の受講状況を把握し、適切に支援が行われているか。	A	スクーリングや試験中の生徒の体調や精神面の状況を把握する。また、レポート提出状況の把握をしながら個別に生徒支援をしていく
生徒支援	個別支援	ひとり一人異なった背景を持つ生徒に対して、個々に応じた関わりの方針が検討され、継続的な取り組みがなされているか。	A	月1回の個別面接を行い、状況を把握し、次月への目標設定や行事への参加を聞いたり、心配事や不安等の解決を一緒に考えていく
	心の支援	高等学校での単位修得に関するサポートにとどまらず、生徒の心の状態や健康面に対する視点を持ち、心身の成長や課題の克服を目標とした継続的な支援や対応がなされているか。	A	日比成長する中で、揺れ動く思いを聴きながら心が安定するための方法をともに考えていく
	行事・体験活動	行事や集団への体験の場を経験し、他者や集団に対する意識や人間関係の持ち方を体験し、社会参加に向けた取り組みに参加できる機会を持てる環境があるか。	A	サポート校独自の毎月の行事を計画している。加えて西部サポート校としての行事、東林館本校としての行事を実施、また、地域のボランティア活動
進路	進路支援	生徒の進路選択に対する支援が、保護者も含めてなされているか。	A	生徒個々それぞれの進路希望に対応していくために、進路先との相談会、オープンキャンパス、三者懇談等を行っている。また福祉金後の連携も実施
保護者	保護者支援	保護者面談等を通じて、生徒の支援あるいは家庭での子供との関わりについて保護者支援がなされているか。	A	年2～3回の保護者会を実施
環境施設	防災	学習等支援施設において、火災や地震等、防災に対する支援体制はできているか。	A	避難訓練や防災啓蒙講座の実施
	施設安全対策	学習等支援施設において、安全点検等を定期的に行い、安全な環境づくりが推進されているか。	A	消火器の設置、設備の安全点検等を実施
	衛生・健康管理	感染症対策等、施設の衛生面での管理がなされているか。	A	アルコール消毒、体温計、マスク等を準備して感染症対策を実施
管理	文書管理	生徒情報は適切に管理されているか。	A	個別ファイルを作成して、生徒情報を職員全員が共有できるようにしている。またスラックを導入して日々の生徒の動きを共有している
情報	情報提供	生徒の入学に際して、学習等支援施設と高等学校の関連性と学費に対する説明がなされているか。	A	入学時の説明でサポート校と本校との関係の理解を得られるようにしている
連携協力	関係機関との連携	必要に応じて、教育・医療・行政・心理・福祉・施設等との連携がとられているか。	A	関係機関として出身中学校、医療機関、市役所、福祉事業所等との連携を日頃から行っている
	実施校との関係	当該施設と実施校の設置者との間で、連携協力内容についての文書による取り決めがおこなわれているか。	A	連携・協力内容について本校とサポート校の間で文書を交わしている
	実施校との関係	当該施設と実施校との連携について、実施校の学則内に当該施設との連携内容が明記されているか。	A	明記されている
	実施校との連携体制	生徒支援のため、実施校の職員と定期的に連携を取り生徒に必要な支援にあたれているか。	A	生徒の入学時の情報共有と毎回のスクーリング時には朝礼を行い、生徒の状況を全員で共有している